

(陳受28第39号)

東京都知事に対する非核都市宣言等を求める意見書提出に関する陳情

受理年月日	平成28年8月4日
陳情者	埼玉県北葛飾郡杉戸町倉松1-7-27 小畑 孝平

陳情の要旨

2016年7月31日投開票の東京都知事選挙にて、小池百合子氏が当選されました。

しかし、小池氏に関しては、その卓越した行動力が裏目に出て、かねてより、核武装及び原発の推進論者であることの相当に強い疑義並びに東京都議会に対する革命的なスタンスが懸念要因とされております。

小池氏御本人は、核武装論者等に関しては「事実無根の捏造である。」旨、否定されています。

それでもなお、先述の疑義等に関する小池氏に対する東京都民にとどまらぬ日本国民からの甚大なる不安感及び恐怖心は、少しも拭い去られていないのです。

ならば、東京都として非核都市宣言をなすことが妥当と思料されます。

その他、原発推進、核武装を明確に否定し、これを公約に追加し、または同趣旨の例規を制定することも必要です。

さらに、東京都議会との不要な争い事を避け、都政を円滑に遂行することを優先させるべきです。

これらをなすことで、過去の核武装論者等の疑義及び東京都議会への革命的スタンスに関する国民の不安感及び恐怖心は払拭され、東京都知事本人が、国民からの信頼を得ることができます。

就任早々、つまらぬ疑義や不安感等を抱かれ、著しく不当なプロパガンダ等の妨害を受けては、せつかくの都政改革が台なしになってしまいます。

よって、本件趣旨を求める意見書を、東京都知事御本人へ提出する必要があることと思料されます。

東京都民のみならず日本国民が安心して東京都政の刷新を託せる東京都知事であってくださることを、切に願わんばかりです。

以上の趣旨から、下記の事項を求める意見書を、東京都知事へ提出されたい。

記

- 1 東京都において、非核都市宣言をすること。
- 2 その他、原発推進、核武装を明確に否定し、これを公約に追加し、または同趣旨の例規を制定すること。
- 3 東京都議会との関係において、不必要な争いをせずに、都政を円滑に遂行することを最優先すること。